

第5回 大阪大学・チュラーロンコーン大学 日本文学国際研究交流集会

日時： 2014年3月28日(金) 午後1時～6時30分
会場： 大阪大学会館 アセンブリー・ホール

様々な国の若手の日本文学研究者が発表・議論を行います。参加は自由です。多くの方のご来場をお待ちしております。

開会の辞 出原隆俊 Izuhara Takatoshi 大阪大学教授

〈第1ブロック 13:10～15:10〉

枕草子における形容詞の表現手法

楊也 Yang Ye 大阪大学大学院生

謡曲と太平記の作品研究

スリヤー・タンティウオン Suriya Tantiwong チュラーロンコーン大学大学院生

謡曲の中の中世の武士—兄弟関係をめぐって—

チャットポン・セートタソムポブ Chatpong Setsompop チュラーロンコーン大学大学院生

狐の芸尽し—西鶴『懷硯』巻二の五「椿は生木の手足」考—

仲沙織 Naka Saori 大阪大学大学院生

日本近世漢文におけるタイ

合山林太郎 Goyama Rintaro 大阪大学講師

ディスカッサント 箕浦尚美 Minoura Naomi 大阪大学助教

松本大 Matsumoto Ooki 大阪大学大学院生・日本学術振興会特別研究員

有澤知世 Arisawa Tomoyo 大阪大学大学院生

〈第2ブロック 15:30～17:30〉

明治下層社会記録文学における貧民への視線—桜田文吾と松原岩五郎の対比を中心に—

内藤貴夫 Naito Takao 大阪大学大学院生

露伴とうずまき—「ねじくり博士」を中心として—

吉田大輔 Yoshida Daisuke 大阪大学大学院生

タイで読まれる賢治童話—変化と受容の可能性—

藤岡亮子 Fujioka Ryoko チュラーロンコーン大学大学院生

太宰治『姥捨』論—かず枝に注目して—

村岡聖 Muraoka Sho 大阪大学大学院生

手塚治虫にみる映画『王様と私』の援用—『孔雀貝』から『火の鳥』へ—

橋本順光 Hashimoto Yorimitsu 大阪大学准教授

ディスカッサント 水野亜紀子 Mizuno Akiko 大阪大学講師

小橋玲治 Kohashi Reiji 大阪大学大学院生

アナンド・サンチット Sanchit Anand 大阪大学大学院生

講評 荒木浩/Araki Hiroshi 国際日本文化研究センター教授

久保田裕子 Kubota Yuko 福岡教育大学教授

海野圭介 Unno Keisuke 国文学研究資料館准教授

マッタナー・チャトゥラセンパイロート Matana Jaturasangpaioj チュラーロンコーン大学講師

加藤洋介 Kato Yosuke 大阪大学教授 鈴木睦 Suzuki Mutsumi 大阪大学教授

蔦清行 Tsuta Kiyoyuki 大阪大学准教授 岩井茂樹 Iwai Shigeki 大阪大学准教授

閉会の辞 ドゥアンテム・クリスダーターノン Duantem Krisdathanont チュラーロンコーン大学助教授

総合司会 康盛国 Kang Sungkook 大阪大学大学院生 瓦井裕子 Kawarai Yuko 大阪大学大学院生

主催：大阪大学日本文学・国語学研究室 チュラーロンコーン大学文学部東洋言語学科日本語講座

共催：大阪大学文学研究科 国際交流基金 タイ国トヨタ自動車株式会社 大阪大学古代中世文学研究会

連絡先：合山林太郎研究室 (Tel: 06-6850-5680 Mail: goyama★let.osaka-u.ac.jp ★=@)